

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 19 日

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
主管課名	建設課	主管課長名	宮崎 信一
関係課名	都市計画課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が整備され、朝夕の交通渋滞が解消されています。 ・身近な生活道路が整備され、毎日の通勤、通学や買い物などが便利になっています。 ・道路の維持管理や除雪が適切に行われ、安全で円滑な交通が確保されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な道路のごみ拾いや除草などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬季間の円滑な道路交通確保に協力します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幹線道路網の整備を計画し、事業の実施に努めます。 ・住民生活に密着し、緊急性・重要性の高い生活道路の整備に順次取り組みます。 ・きめ細かな維持・管理を行い、安全で快適な道路環境の確保に努めます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで道路の除草や側溝清掃などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。

施策にかかるコスト等	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	21 (21)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (6)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	8 (8)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	7 (7)				
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	544,398	0	0	0	
うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	163,587				
うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	132,458				
うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	248,353				
うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	95				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	26,880				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	118,245				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	662,643	0	0	0	
市民1人あたりにおける施策の								
G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	12,285				
同上								
H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	2,668				
同上								
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	14,953				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	幹線道路の整備		市内幹線道路網の骨格となる国道や主要県道の整備促進を図るとともに、都市計画道路の見直しや幹線市道の計画的な整備を進めます。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	道路改良事業		計画的に幹線市道の整備を進め、市内幹線道路のネットワーク化を図ります。								
	都市計画道路見直し事業		社会情勢や地域の実情を反映したまちづくりを進めるため、未整備となっている都市計画道路の見直しを行います。								
	国道・県道路整備促進事業		道路関係同盟会などを通じて、国や県に対して道路予算の確保や事業制度の拡充を求め、幹線道路の整備促進を図ります。								
	基本事業①の目的【意図】		幹線道路が整備され渋滞が解消されるとともに、近隣市町に短時間で行き来できるようになっています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合		%	58.1	58.3	46.7	46.9	47.1	47.3	53.5	55.0
	市内の道路改良率(国・県・市道)		%	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	80.0	80.1	80.5
					79.4	79.7	79.8				
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	生活道路の整備		市民の暮らしに密着した生活道路の整備を、計画的に行います。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	市道改良舗装事業		住民生活に密着した市道の改良や舗装を計画的に行います。								
	土地区画整理事業		土地区画整理により、地域住民の生活道路である市道などを整備します。								
	市道バリアフリー事業		市道改良事業などに併せて道路の段差解消などを行い、歩行者や自転車の通行の安全性を確保します。								
	基本事業②の目的【意図】		身近な道路が整備され、毎日の生活が便利になっています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	市道の改良率		%	75.9	76.0	76.1	76.2	76.3	76.4	76.5	77.0
	市道の舗装率		%	93.5	93.6	93.7	93.7	93.8	93.9	94.0	94.5
					93.7	93.9	94.0				
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
	道路維持管理体制の強化		路上工事や通行制限状況を的確に把握し、市ホームページなどで随時情報発信を行うとともに、道路の維持・補修や除雪体制の強化、資機材の充実を図ります。								
	③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	市道維持補修事業		老朽化し、安全な道路交通に支障となる道路の維持補修を行います。								
	雪寒地域道路事業		水資源に配慮しながら、消・融雪施設の整備を進めます。								
道路除雪体制の充実		除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しを進めます。									
基本事業③の目的【意図】		充実した道路の維持・管理や除雪体制によって、安全で円滑な交通が確保されています。									
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
苦情・要望のあった道路補修の実施率		%	74.1	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	85.0	
市内の道路除雪延長(国・県・市道)		km	375.6	376.3	377.0	377.7	377.7	381.7	382.1	382.6	
				380.3	381.4	387.4					
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	道路は市民にもっとも身近な社会資本であり、道路の整備や維持補修等について依然として多くの要望が寄せられており、今後とも施策を推進します。 冬季間の交通を確保するため、引き続き除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しと消融雪施設の拡充を進めます。	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	◆市民から道路整備や維持補修について多くの要望が寄せられており、現場状況に応じて道路機能の強化に努めます。 ◆除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しを進め、冬季間の交通を確保します。	